

放送大学 山形同窓会 会報 第21号

発行 放送大学山形同窓会
〒990-8580
山形市城南町一丁目1番1号
放送大学山形学習センター内
電話 023-646-8836
Fax 023-646-8838

人生での出会い、「縁」と「魅力」を考える

山形学習センター所長
安田 弘法

「結縁」、これは聖徳太子が、「縁」の重要性を示された言葉です。私の70年近い人生を振り返ると、佳い方との良い縁が、私の人生を作っています。皆さんも、そのような「縁」の経験があるでしょう。「縁」、今までも、今も、これからも重要に思います。今回は、「人生での出会い、「縁」と「魅力」を考える」を記します。

年度初めは、入学や入社及び異動等、新たな出会いの季節。「縁」を体験する時期です。私の最も大きな出会いは、商船高専の5年半でした。島根の田舎で育ち小中学校は、1クラスで9年間同じ友達と生活。その生活が激変したのが、16歳の時。山口県の瀬戸内海に浮かぶ周防大島にある商船高専への入学とその後の生活。全国から外国航路の商船士官を夢見る若人が集い全寮制で5年半の生活、色々な出会いがありました。

商船高専での貴重な「縁」の始まりは、魅力的な恩師との出会い。私にとり記憶に残る出会いとは、魅力的な人との遭遇です。魅力は、その人から醸し出される「香気」。魅力の要因を並べても「魅力のある人」の実態は語れず、「香気」は、伝わりません。恩師のエピソードを少し紹介して、私が感じた恩師の魅力、「香気」の一端を紹介します。

商船高専の「ヤンチャ坊主」が、微笑みを浮かべた恩師に出会うと「心身ともに姿勢を正す」。このような先生でした。何が学生達をこのようにさせたかは、不明です。先生から醸し出される「香気」の影響かと思います。先生が、無言で微笑むだけで「姿勢を正す」、これは凄いことです。

ある夏の夜、寮の屋上で友達と鍋を作り「星を観る宴」。午前2時頃、鍋の具がなくなり、「先生を起こして、具を貰う」ことを計画。先生宅の玄関を叩き、先生と奥様を起こしました。「先生、鍋の具がないのですが、何かありませんか」とお願い。先生は、ニッコリ微笑み「よく来てくれた」と一声。そして、奥様に「冷蔵庫の物をみな渡せ」

と指示。その後の宴は、さらに盛り上がりました。こんな先生は、いません。

4年生の初夏、私は卒業後、大学進学を考え、先生に相談。先生は、私の話を静かに聞いて、「安田、大学は、そこで何もしなくても行く価値がある。よく決断した、私は嬉しい」、と微笑んで話されました。私は、この一言がとても嬉しかった。大学は、「行くだけで価値があり」、行って良かった。また、先生は、愛嬌もある方でした。ある夜8時頃、私と友人が先生の官舎に呼ばれました。先生は、すでに同僚の方と二人でお酒を呑まれ「君達2人は、私の電気工学が満点だった。今夜は、一緒に呑みたい」と呼び出し理由を説明。30分くらい一緒に呑んだ後、「我々二人は、これからキャバレーで呑んでくる。君達は、うちのおばさんと呑んでくれ。30分したら帰ってくる」。

「オーイ、私の^{いっちょうら}一張羅を出せ。君達も連れて行きたいが、今日は我慢してくれい」と「出港」。「一張羅を出せ」、と駄々をこねた先生。愛嬌を感じました。先生達は、30分後に上機嫌で「帰港」。その後、さらなる楽しい宴。松下幸之助さんは、「リーダーは、愛嬌が必要だ」と述べています。私もそう思います。

先生は、私が卒業して数年後、50歳過ぎに癌で亡くなりました。先生の年齢を超えた今、先生の魅力の足下にも及びません。どう生きたら先生のような「香気」がある魅力的な人になれるのか、今でも考えます。先生と一緒に過ごした短くて濃い日々。それらの日々は、今までも、今もこれからも私の脳裏に鮮明に残り、一生忘れません。

「先生の魅力、人の魅力って何だろう」と思います。先生はロマンがあり、誰に対しても誠実で、愛嬌とユーモアがありました。そして、「生きる姿勢」が美しく、格好がよかった。これは、魅力です。凄い先生。これからも良い「縁」、良い出会いに遭遇したいです。

山形 SC では、今年度の客員教員を6名から2名増員し、8名にしました。新たな教員は、いずれも女性教員で看護学と考古学が専門。今年度は、8名の客員教員と私で「学びのサロン（ゼミ）」を行います。同窓会の皆さんも是非、「学びのサロン」にご出席ください。

東洋哲学の泰斗、安岡正篤先生は、「^{えんじんき}縁尋機^{みょう}妙」、良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展してゆく様は誠に妙なるものがある」と教えています。

私もそう思います。「良い縁は、良い縁を結びます」。同窓会の皆さんも、山形 SC で「結縁」を楽しんでください。



3月27日(日)
山形学習センター
において、学位記
授与式が行われま
した。

25名の卒業生と3名の大学院修了生でしたが、当日の参加者は14名。会員の齋藤貞治さん、伊藤典子さんが名誉学生に、おめでとうございます。

新会員紹介 公平まり子さん、佐藤孝子さん

科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)

社会人などを対象とした、2007年に始まった新しい履修・学習の証明制度。大学などが開設した一定のまとまりある学習プログラム(履修証明プログラム)の修了者に対して、大学などが法に基づく「履修証明者」を交付できる制度。

2021年1月31日までの累計認定取得件数は27,582人

取得者1,000名以上

①心理学基礎プラン	3,770名
②健康福祉指導プラン	2,713名
③福祉コーディネータープラン	2,622名
④臨床心理学基礎プラン	2,130名
⑤歴史系博物館プラン	1,515名
⑥社会生活企画プラン	1,348名
⑦芸術系博物館プラン	1,298名
⑧次世代育成支援プラン	1,260名
⑨異文化コミュニケーションプラン	1,160名

放送大学 アニュアルレビュー2020より



学び、知る楽しみ

伊藤典子

私は、中学2年になる春休みより約2ヶ月半程、仙台の病院に入院しました。その間、山形から離れておりましたので、勉強もせず療養の日々を送りました。学校に戻っても午前中のみ。その様な生活の中で、もう一度学び直したいという思いがつのり、山形学習センターに入学いたしました。

文学、歴史を中心に始め次々と教えを受け、自コース以外の科目まで手を伸ばした結果、この春全コースを卒業致しました。総単位数は236単位でした。

学んだ数多くの科目の中でも心に残ったのは、渡辺保先生の『演劇入門』や『現代における伝統演劇』です。この科目で、歌舞伎舞踊、「娘道成寺」の女形の美しい手振りがあるかぎり、日本もまたなつかしい国で、ここに日本文化の美しさの一つがある。との教えをいただき、観劇した時は踊りの一動作ごと、心に染み渡りました。

奈良先生の『生活知と科学知』は、日常生活をするうえでのさまざまな、“ヒント”を教えてくださいました。

高柳先生の『かしこくなる患者学』では、“笑”の重要性を。自分自身が患者であった時、この事を早く知っていたら……と。学ぶ事の大切さを思い知らされました。

数々の教科で、初めは苦手と思われた科目も次第に興味が出てきたものもあり。知ることの楽しさを実感いたしました。

山形学習センターやゆうがくの会が主催して下さった、修学旅行や街歩き、研究発表など。そしてクラブ活動などを学友と共に参加できたことも幸せでした。これらは、今後も続けて行きたいと思います。

皆さまに感謝申し上げ、未知の旅へと出発いたします。



紙上同窓会

棒杭市

岡崎由美子

棒杭市（ぼっくいいち）を知っていますか？上杉鷹山公の時代、米沢では棒と杭で簡素なブースを道端に設け、野菜や工芸品などを置いた無人販売所のことです。料金は脇につるしたビクなどに入れる仕組み。商品や金銭が盗まれることがなかったと伝えられています。

昨年11月、米沢の道の駅「田沢なごみの郷」で行われた棒杭市を訪ねました。売り手と買い手が信頼しあう米沢の人々の清らかな心を感じましたが、もう一つ、コロナ禍の現在にも有効なシステムであると思いました。売り手と買い手が直接顔を合わせることがないので、パーテーションを間に置いたやり取り以上に安全・安心です。通販やリモートによる販売だけではなく、コロナ禍の時代、棒杭市のような国に広げていく価値があるのかもしれない。

ただし、大都市の人々が米沢の人々のように「清らかな心」を持っていれば、という大前提があります。

2004年、生活と福祉、2015年、心理と教育を卒業しましたが現在は親の介護等で、勉強は中々難しいですがまた復学したいと考えています。



米沢女子短期大学アクセスリンクより

大発見

岡田 和子

皆様いかがお過ごしですか？ 放送大学という心地良い居場所も新型コロナの感染が収束しないために ほとんど足を運ぶ事が出来ないであります。この二年以上様々なものが停滞しております。そんな中新聞紙上でシオノギ製薬の錠剤の治療薬がもう間もなく発売開始されるかとの明るいニュースがありました。

そのような話題をと考えていましたら、我が家の庭にもありました。たっぷり積もった雪の上りんごのへた三個を夫が並べた時です。早速ひよがきて一羽が2つをついばんでました。飛び立って間もなくもう一羽が、残りの一つをつついてます。数回二羽が往復するのですが、面白い事に二個と一個というテリトリーは最後まで全く変えなかったのです。どんな風にしてお互いに決めているのかは判りませんが、これは大発見です。人間も学ぶ事有りかもしれません。

楽しみはほんの小さな事からも見つけられます。希望を持つ生活をしたいものですね。

では もう一つ楽しいクイズのプレゼントです。他大学の元教授からのもの。

$$\begin{array}{r}
 \square\square\square \\
 \times \square\square\square \\
 \hline
 \square\square\square\square \\
 2022 \\
 \square\square\square\square \\
 \hline
 \square\square 04\square\square
 \end{array}$$



□に0から9の数字をいれる。
楽しんでね。

草光教授と過ごした白布温泉

石沢 清

自分は、草光先生のご指導の下、平成19年3月に大学院を修了しました。

本格的な論文など書いたことがないため、卒業論文は要領が悪く、上巻、下巻合わせて400ページにもなってしまったが、先生は辛抱強くご指導下さいました。

卒業後しばらくした頃、「どこか湯けむりの立つ、ひなびた温泉でみんなでゆっくりしたいもんだね」と声をかけられた。先生もさぞお疲れになっていたのでしょう。

そこで思いついたのが米沢郊外の白布温泉でした。7月初旬、1泊2日で中屋旅館がとれました。早速同期生などに案内したところ、男性1名、女性2名が応募してくれました。第1日目の7月5日正午頃、みんなを米沢駅に出迎え、上杉公園近くの店で「うごぎごはん」を味わっていただき、白布温泉では、中屋温泉がとれました。古風な中にも品格のある宿でした。二階の部屋は百畳敷もあろうかと思われる部屋で、これを3つに仕切り、奥の方は先生ご夫妻、次は女性2人用に、1番手前が滝井さんと自分になりました。中庭は和風庭園で、温泉の湯気が松の枝を濡らし、風情をかもしている。みなさんには、ゆっくり風呂に入ってもらいました。

次の日は、また米沢市内、上杉公園にとってかえし、「成せば成る、成さねばならぬ何事も…」鷹山公像を拝したり、上杉博物館を見学して頂き、昼過ぎの列車で帰途についていただきました。山形県米沢の“上杉文化”をたっぷり感じて頂いたと思いました。



東北・北海道ブロック交流会

令和元年9月郡山市を会場にブロック交流会が開催されました。翌年宮城県が担当で行われる予定でしたが、コロナウイルスの関係で延期に、昨年も感染拡大で収束の目途がたらず、今年3月に面談で行いたいとの思いも届かず、ZOOMでの開催となりました。佐々木美枝子会長はじめ、宮城野会の役員のみなさんには、大変ご苦勞された事

とお察しいたします。

3月5日(土)に、ブロック交流会に参加を予定していた平泉良一さん、柳澤卓さん、伊藤典子さんが山形学習センターに集まりZOOMでの会議に参加しました。

初めての事なのでどうなるのか心配でしたが、センターの齋藤事務長さん、職員の皆さんのご協力により、快適な環境で参加することが出来ました。

感謝申し上げます

主な内容は

- ① 放送大学本部 菊川副学長の講話
- ② 前放送大学客員教授 秋永雄一氏
『放送大学と同窓会』
- ③ 吾妻健太氏の修士論文発表
『ヴェルディのオペラにおけるアウトサイダーの考察』
- ④ 元仙台市富沢遺跡保存館館長 金森安高氏
『片平丁から知る仙臺の歴史』



どこの同窓会も悩みは同じ
同窓会長を引き受けてくれる人がいない。

今年度は岩手県が担当。コロナが収まり対面でのブロック交流会が出来ればいいのですが。

編集後記

◇「宮城野会創立20周年」という事で記念誌が発行されました。山形同窓会も間もなく創立20周年を迎える事になります。

◇学生のみなさんとお会いできたのは、単位認定試験と面接授業。それがWEBになると学習センターを訪れる機会も少なくなり益々交流の場が少なくなりますが、センターから遠い人には朗報でしょうか。ZOOMでの交流も視野に入れながら考える時代でしょうか。

◇私は、学びのサロン、人間学「致知」で月2～3回学習センターを訪れています。みなさんも是非参加してみてください。

(平泉良一)